

Attracting Tomorrow



TDK Today

株主通信 Vol.74

129期 中間期

2024/4/1 ▶ 2024/9/30

特集

社会と未来を変える
TDKのテクノロジー

TOPICS

東京2025世界陸上への協賛を発表

証券コード

6762



株主の皆様へ

**ICT市場・HDD市場の堅調な需要により
前年同期比で増収・大幅な増益を実現。
中間期営業利益として過去最高を更新しました。**

2025年3月期中間期連結業績について

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年3月期中間期（2024年4月1日から9月30日までの6ヶ月間）の連結業績についてご報告申し上げます。

当中間期の世界経済は、北米では底堅く推移しているものの、欧州では低調に推移し、中国経済が引き続き減速傾向にあることや、中東情勢の緊迫化など、不安定な状況が続いております。また、為替レートは対ドルやユーロを中心に円安傾向が継続しました。当社の業績に影響を与えるエレクトロニクス市場においては、ICT（情報通信技術）関連製品の生産に回復傾向が見られ、データセンター向けHDD（ハードディスクドライブ）の需要も大幅に回復しました。一方で産業機器市場では設備投資需要が低調に推移し、また、自動車市場ではBEV（電気自動車）の需要に減速感が見られ、期初想定 of 需要を下回り

ました。

このような経営環境の中、当中間期の売上高は前年同期比2.8%の増収となりました。営業利益は、円安やICT市場向け製品の出荷増、前期に実施した構造改革効果等により前年同期比55.8%の増益となり、中間期営業利益として過去最高を更新しました。

2025年3月期 中間期連結業績概要

売上高	1兆895億円（前年同期比 2.8%増）
営業利益	1,333億円（同 55.8%増）
税引前利益	1,373億円（同 71.1%増）
親会社の所有者に 帰属する中間利益	1,057億円（同 95.1%増）



2025年3月期下半期の見通しについて

業績予想の前提となる、当社に關係する主要デバイスの生産台数予想をもとに、第3四半期の売上高増減イメージは右記の通り想定しています。

- 受動部品は、産業機器市場向けの販売が引き続き低調に推移する一方、自動車市場向けの販売が増加する見込みです。
- センサ応用製品は、自動車市場向けの温度・圧力センサなどの販売が増加する一方、磁気センサはスマートフォン向けの販売が減少となる見込みです。

- 磁気応用製品は、HDDの生産台数増加を見込み、サスペンションの販売が増加するものの、ヘッドは新機種立上げの端境期となり、販売が減少する見込みです。
- エナジー応用製品は、産業機器市場の低迷により、中型二次電池、産業用電源が減収となりますが、小型二次電池の販売は横ばいから微増の見込みです。

業績と配当の見通しについて

2025年3月期の連結業績見通しは、当中間期の業績が期初想定を上回る水準となったことなどを受け、2024年4月に発表した見通しから上方修正し、売上高は2兆1,200億円、営業利益は2,200億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は1,600億円としています。また、配当金の見通しについては、7月発表の期末配当予想12円から2円増配し、14円を予定しています。

2024年5月に発表した新中期経営計画でのポイントの一つとして挙げておりました「キャッシュ・フロー経営の強化」につきましては、中間期実績が想定以上に進捗し、通期フリー・キャッシュ・フロー (FCF) を期初想定150億円から1,200億円に拡大すると見込んでいます。

また、技術力の強化については、中長期の社会のTrans-

formation (変革) への貢献を見据えた新規技術の開発を進めており、「ニューロモルフィックデバイス」はCEATEC 2024においてイノベーション部門賞を受賞しました。加えて、サステナビリティ活動では、6月に国際的イニシアティブSBTiによるSBT認定を取得。7月には、サステナビリティ評価機関のEcoVadis社の調査において、初めてゴールド評価を獲得しました。当社は、長期ビジョン“TDK Transformation”の実現に向けて、上記の財務・未財務それぞれの活動を強化していくとともに、引き続き、株主・投資家の皆様との対話・協働活動を強化することで、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。引き続きご支援の程よろしくお申しあげます。

代表取締役社長執行役員CEO 齋藤 昇

第3四半期の売上高増減イメージ

セグメント区分	2025年3月期 第2四半期実績	2025年3月期 第3四半期予想 (前四半期比) [※]
受動部品	1,419億円	-1 ~ +2%
センサ応用製品	508億円	-3 ~ ±0%
磁気応用製品	559億円	-12 ~ -9%
エナジー応用製品	3,091億円	-1 ~ +2%
その他	130億円	-
合計	5,707億円	-2% ~ +1%

※為替レートは第2四半期基準

2025年3月期 連結業績及び1株当たり配当金の見通し

売上高	2兆1,200億円 (前期比 0.8%増)
営業利益	2,200億円 (同 27.2%増)
税引前利益	2,270億円 (同 26.6%増)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,600億円 (同 28.3%増)

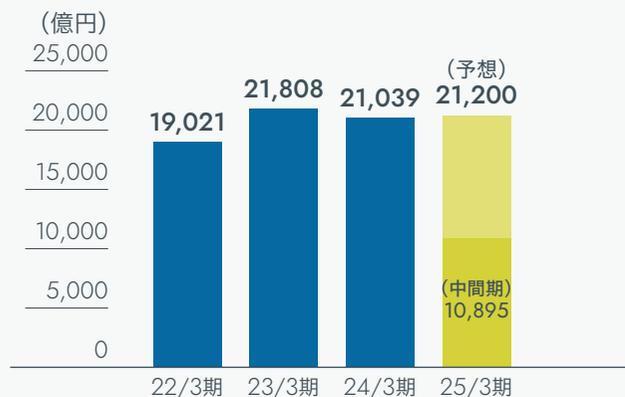
※2025年3月期通期での平均為替レートは対米ドル147円、対ユーロ161円を想定しております。また、第3四半期以降の平均為替レートは対米ドル140円、対ユーロ156円を想定しております。(2024年11月1日発表)

中間配当	70.00円 (前期実績 58.00円)
期末配当 (株式分割前換算)	(見通し) 14.00円 (70.00円) (同 58.00円)
年間配当 (株式分割前換算)	- (見通し) (140.00円) (同 116.00円)

※当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を5株に分割いたしました。2025年3月期の1株当たり配当につきましては、中間配当は分割前、期末配当は分割後の金額を記載しております。

業績ハイライト - 1 主要財務指標等の推移 (予想: 2024年11月1日発表)

売上高



営業利益及び営業利益率



親会社の所有者に帰属する当期利益



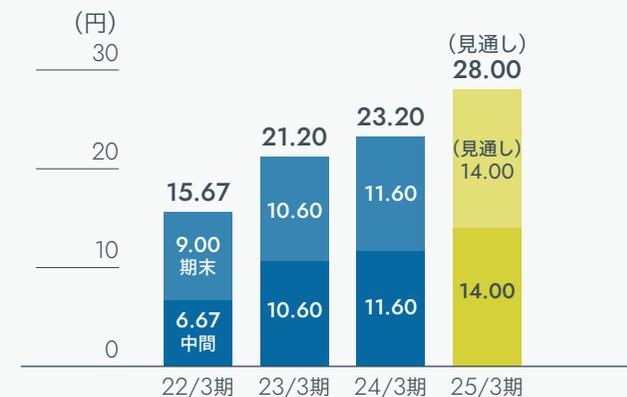
親会社の所有者に帰属する持分



資産合計/親会社所有者帰属持分比率

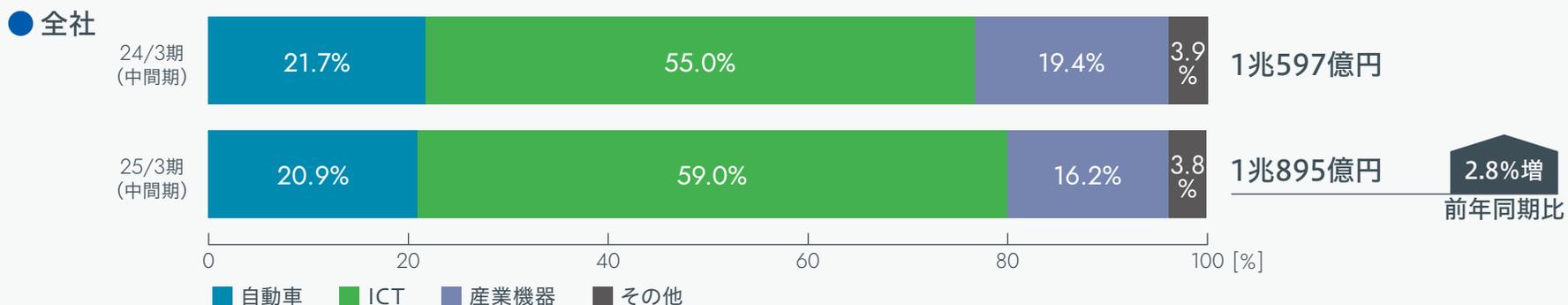


1株当たり配当金



(注) 1. 当社は2022年3月期の有価証券報告書における連結財務諸表から国際財務報告基準 (IFRS) を任意適用しています。
 2. 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を5株に分割しました。2024年3月期以前についても株式分割実施後の基準に換算した数値を記載しています。2025年3月期の1株当たり配当金については、中間配当を70円 (株式分割前の株式数を基準に実施) とし、期末配当予想を14円としています。

業績ハイライト - 2 重点分野別売上の状況 (2025年3月期中間期)



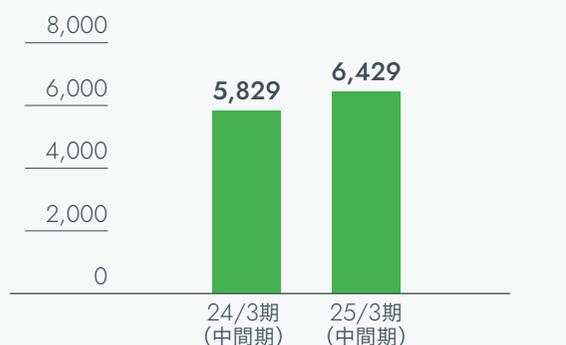
自動車



市場分野別ポイント

- 受動部品、センサの販売は増加したが、BEV(電気自動車)の販売減速により成長が鈍化。

ICT



市場分野別ポイント

- 買い替え需要や新規モデルの立ち上がり等の影響により、ICT関連製品向けの部品需要が回復し、小型二次電池、センサの販売が増加。
- データセンター向けニアライン用HDDドライブの需要が回復し、HDDヘッド及びサスペンションの販売が大幅に増加。

産業機器

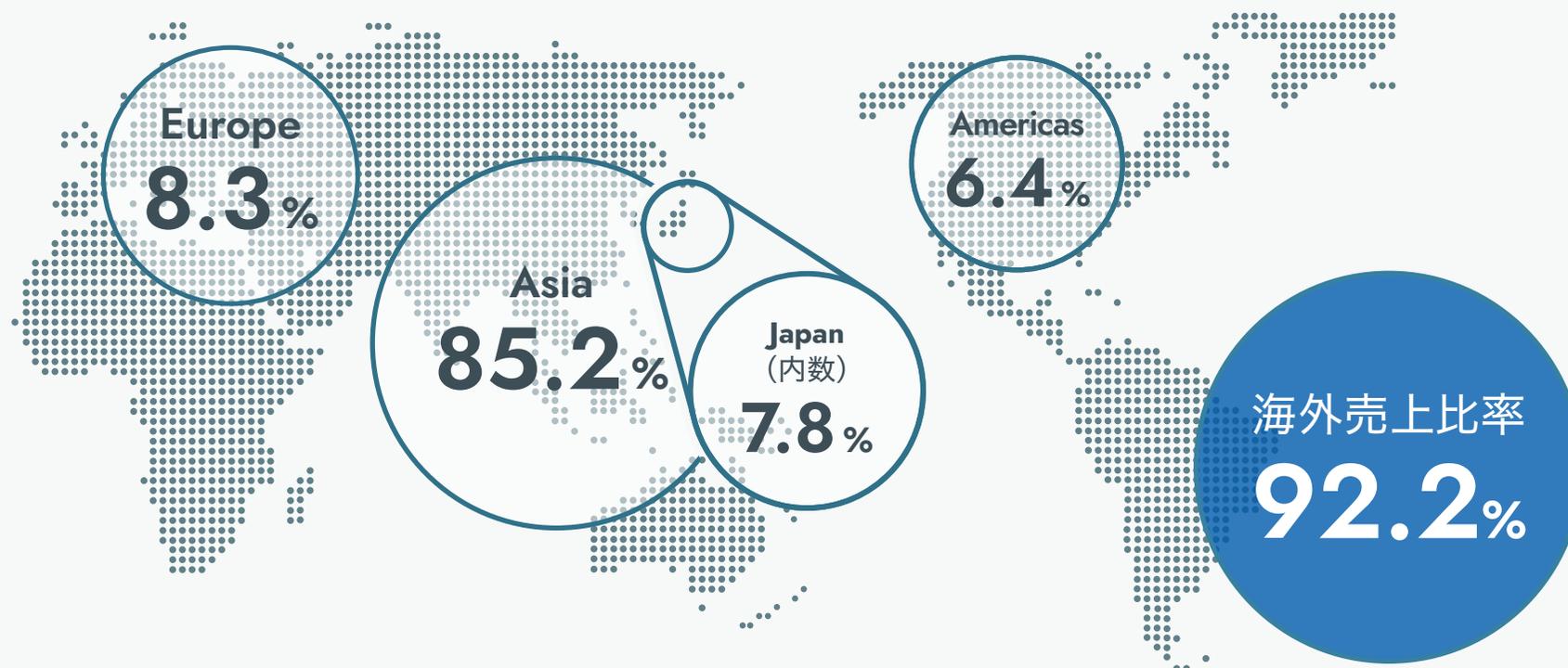


市場分野別ポイント

- 産業機器市場向け中型二次電池、産業機器用電源、受動部品及びセンサの販売が減少。

業績ハイライト - 3 地域別売上構成 (2025年3月期中間期)

TDKグループはグローバルに事業を展開しており、海外売上比率は90%を超えています。
また、地域別では、日本を含めたアジア地域が85.2%と、最も大きな割合を占めています。



社会と未来を変える TDKのテクノロジー

TDKは、2024年5月に長期ビジョン「TDK Transformation」を発表しました。このビジョンにおいて、当社はテクノロジーの進化と社会の変革を加速し、サステナブルな未来の実現に貢献するために、独自の材料・プロセス・ソフトウェアを組み合わせた電子デバイスの開発を進めています。今回の特集では、これからの社会を大きく変える可能性を秘めた、TDKの製品やソリューションをご紹介します。

DC-DCコンバータ

蓄電池の充放電を効率的に行うことで、再生可能エネルギーの普及を支えます。



センサ製品

さまざまな種類のセンサを豊富にラインアップし、ドローンや自動車、ロボティクスなどの進化を支えます。



インダクティブデバイス

自動車の省エネ、車載通信の信頼性向上、スマートフォンの通信品質の向上などに貢献しています。



ソフトウェア

センサが感知したデータを活用した機械学習ソリューションなどを通じて、製造現場のDXを支援します。



社会の Transformation



スマートフォン用バッテリーから再生可能エネルギー用の大容量蓄電池まで、先進のエネルギーソリューションを提供しています。

リチウムイオン電池



xEV（電気自動車、ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車等の電動車）の普及や自動運転の多機能化のみならず、再生可能エネルギーの活用にも貢献しています。

セラミックコンデンサ



モバイル機器や車載用・基地局用等に使われる高周波部品を提供し、ネットワーク社会の発展を支えています。

高周波部品



最先端の磁気ヘッド技術の開発を通じてHDDの記録容量向上に貢献し、大容量データ時代を支えています。

HDD用磁気ヘッド

最先端分野で活躍するTDK

世間で大きな注目を集めるAI（人工知能）やAR/VR（拡張現実/仮想現実）など最先端の領域でもTDKのテクノロジーが活躍しています。2024年10月に開催されたCEATEC2024 Awardでは新開発のニューロモルフィックデバイスが「イノベーション部門賞」を受賞するなど、TDKは、社会のDX（デジタルトランスフォーメーション）、GX（グリーントランスフォーメーション）を支える分野において高い評価を獲得しています。



AI AI処理の消費電力が1/100に



ニューロモルフィックデバイス「スピンメモリスタ」

AIの消費電力を100分の1に低減できるニューロモルフィックデバイスを開発。AIの省エネルギー化を通じて、より便利で快適なDX社会の実現を目指します。



ICT エネルギー密度約100倍の新材料を開発

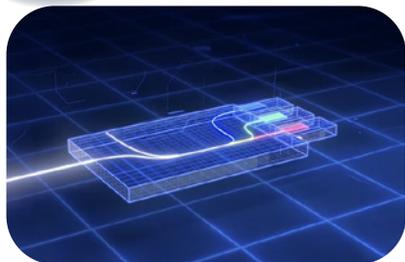


全固体電池「CeraCharge®」

TDKは2020年、世界に先駆けてSMD（表面実装部品）タイプのオールセラミック全固体電池を製品化。2024年には従来の約100倍ものエネルギー密度を持つ新材料の開発に成功しました。産業・コンシューマIoT（モノのインターネット）向けの機器においてコンパクトで信頼性と安全性に優れたバッテリーのニーズに対応していきます。



AR/VR かつてない映像体験を実現



AR/VR用スマートグラス向け「超小型フルカラーレーザーモジュール」

TDKが開発した世界最小クラスのレーザーモジュールは、網膜に直接映像を投影する方式で、約1,600万色のフルカラーを表現します。レンズやミラーを使わずに、従来のレーザーモジュールと比べて1/10まで小型化を実現しました。今後予想されるスマートフォンからAR/VR用スマートグラスへの置き換えやメタバース社会の普及において期待される製品です。

TDKのテクノロジーの進化を示す「フェライトツリー」



TDKでは、フェライトから始まる創業期からの製品や技術の広がり、すなわち成長の軌跡を示す概念を、「フェライトツリー」と呼んでいます。上記に掲載したそれぞれの先端技術も、これまで培ってきた技術から生まれています。当社では、さらに先の領域を探索、研究開発し、コアテクノロジーを磨きあげることで、技術の枝や葉を大きく成長させていきます。

上記のテクノロジーに関する情報は、2024年12月16日にオンラインで開催される「株主様向けテクノロジー説明会」にてわかりやすくご紹介します。参加方法などの詳細は中間配当書類に同封のご案内もしくは [こちら](#) をご覧ください。（2024年9月末時点の株主様限定の説明会となります）

東京2025世界陸上への協賛を発表



WORLD ATHLETICS
CHAMPIONSHIPS
TOKYO 2025



WORLD ATHLETICS PARTNER



会場となる東京・国立競技場

TDKは、2025年9月13日（土）から21日（日）まで東京で開催される第20回世界陸上競技選手権大会のオフィシャルパートナーとして協賛することを発表しました。

当社は1983年の第1回ヘルシンキ大会から継続して世界陸上をサポートしています。

世界陸上が東京で開催されるのは、1991年以来34年ぶりとなります。本大会では200以上の国と地域から選抜された約2,000名のトップアスリートが全49種目を競います。

TDKはこの度「Transformation starts from the passion within」をテーマに掲げ、自らをTransform（変革）させてきたアスリートの挑戦する姿勢と当社が社訓として掲げる思いに重ね合わせています。主な協賛活動として、男子選手のゼッケンスponsor、世界新記録プログラムへの協賛、スタジアム内やコース上へのロゴ掲出などを行います。

当社は、2025年に創業90周年を迎えます。この記念すべき年に開催される東京2025世界陸上を様々な活動を通じて応援し、大会を盛り上げていきます。

鵜澤 飛羽選手を「TDKアスリートアンバサダー」に任命

東京2025世界陸上競技選手権大会に向けて、筑波大学所属の鵜澤飛羽（うざわとわ）選手に「TDKアスリートアンバサダー」に就任いただくことになりました。鵜澤選手は高校時代に野球から陸上に転向後、夢に向かって自分の信じる道を歩み続け、わずか1年半で高校ナンバーワンに輝き、パリ2024オリンピックでも男子200mで準決勝進出を果たしました。

また、鵜澤選手は、TDKが世界陸上に向け掲げている“テクノロジーを通じたより良い未来社会の実現のために自らをTransformしながら挑戦を続ける”というテーマに共感していただいています。

TDKは、鵜澤選手とともに、同世代の方々や子供たち、内なる情熱をもって挑戦するすべての人たちを応援していきます。



TDK世界陸上ウェブサイトのご紹介

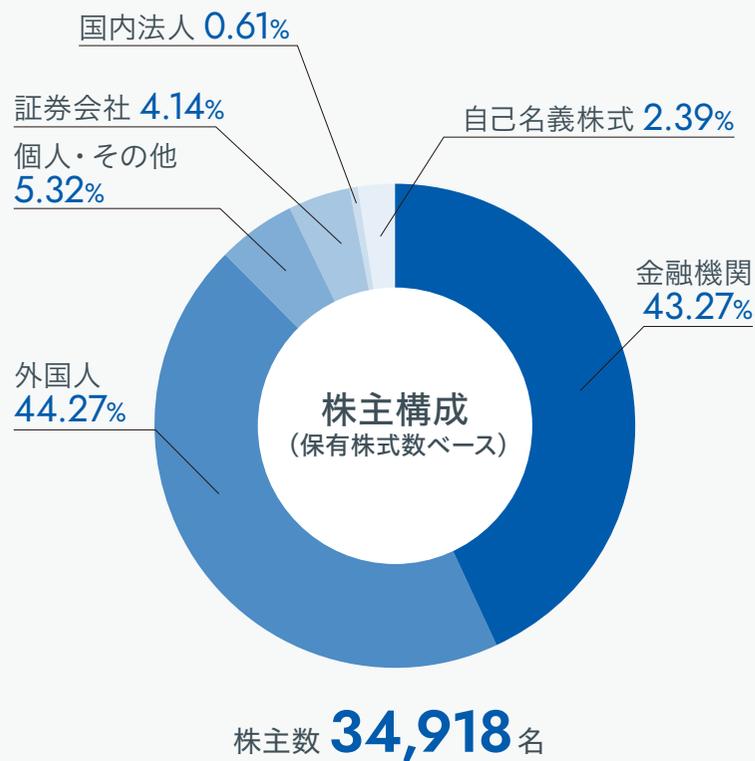


TDKウェブサイト内の世界陸上ページでは、TDKのスポンサーの歴史や世界記録集、トリビアなどを掲載しています。今後開催されるイベント情報などを随時更新していきますので、ぜひご覧ください。アクセスはこちらから

[世界陸上競技選手権大会 × TDK](#)

TDKについて - 1

株主の状況 (2024年9月30日現在)



大株主 (上位10名) (2024年9月30日現在)

	株主名	持株数(千株)	持株比率
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	99,027	26.09%
2	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	51,772	13.64%
3	JP MORGAN CHASE BANK 385632	13,955	3.68%
4	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	9,280	2.45%
5	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	8,170	2.15%
6	JPモルガン証券株式会社	7,225	1.90%
7	HSBC HONGKONG-TREASURY SERVICES A/C ASIAN EQUITIES DERIVATIVES	6,634	1.75%
8	CITIBANK,N.A. -NY, AS DEPOSITARY BANK FOR DEPOSITARY SHARE HOLDERS	6,307	1.66%
9	GOVERNMENT OF NORWAY	5,158	1.36%
10	JP MORGAN CHASE BANK 385781	5,091	1.34%

- (注) 1. 持株比率は自己名義株式(9,282,515株)を控除して計算しています。
 2. 持株数、持株比率とも表示単位未満を四捨五入して表示しています。
 3. 自己名義株式は、上記大株主からは除外しています。

TDKについて - 2

役員 の 状 況 (2024年9月30日)

取締役 (*印は社外取締役)

代表取締役	齋藤 昇
代表取締役	山西 哲司
取締役	佐藤 茂樹
取締役	中山 こずゑ*
取締役	岩井 睦雄*
取締役	山名 昌衛*
取締役	勝本 徹*

監査役 (**印は社外監査役)

常勤監査役	石川 将
常勤監査役	桃塚 高和
監査役	Douglas K. Freeman** (ダグラス・K・フリーマン)
監査役	山本 千鶴子**
監査役	藤野 隆**

執行役員

社長執行役員CEO	齋藤 昇	執行役員	生嶋 太郎
副社長執行役員	山西 哲司	執行役員	橋山 秀一
常務執行役員	Michael Pocsatko (マイケル・ポチャッコ)	執行役員	Roshan Thapliya (ローシャン・タプリア)
常務執行役員	Andreas Keller (アンドレアス・ケラー)	執行役員	Ludger Trockel (ルドガー・トロッケル)
常務執行役員	佐藤 茂樹	執行役員	筒井 隆雄
執行役員	Albert Ong (アルバート・オン)	執行役員	福地 育雄
執行役員	指田 史雄	執行役員	Joe Kit Chu Lam (ジョー・キット・チュー・ラム)
執行役員	Ji Bin Geng (ジービン・ガン)	執行役員	Jim Tran (ジム・トラン)
執行役員	Werner Lohwasser (ヴェルナー・ローヴァッサー)	執行役員	高橋 毅

株主メモ

上場証券取引所	東京（証券コード：6762）
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当基準日	期末：毎年3月31日、中間：毎年9月30日
株主総会基準日	毎年3月31日 （そのほか臨時に必要なときはあらかじめ公告いたします）

定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告（当社のホームページ https://www.tdk.com/ja/index.html に掲載いたします）
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お問い合わせ窓口
配当金の受取方法の指定・変更、 単元未満株式の買取・買増請求、 住所変更、名義変更等	・証券会社等にて当社株式をお持ちの株主様 ▶ お取引のある証券会社等へお問い合わせください。
	・特別口座にて当社株式をお持ちの株主様 ▶ 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。
未払配当金の照会、支払い	・三井住友信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。

お知らせコーナー

● 配当金の受取方法について：

配当金はお受取り忘れのない、安心、確実、スピーディーな、口座振込でのお受取りをお勧めします。

● 単元未満株式の買取・買増請求について：

単元未満株式の買取・買増請求に係る当社に対する手数料は無料となっておりますので、是非ご利用ください。（但し、特別口座の株主様を除き、証券会社等に対する手数料が別途必要となる場合がありますので、ご注意ください）

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 **0120-782-031**（フリーダイヤル）
（受付時間：9：00～17：00 ※土日休日を除く）

TDK株式会社

〒103-6128 東京都中央区日本橋二丁目5番1号
<https://www.tdk.com/ja/index.html>